

# ☆放課後子ども教室☆

6月14日（日）に開催された小学校の運動会を見に行きました。雨の影響で1日順延になったものの、開催当日は初夏のさわやかな青空が広がり、まさに運動会日和。子どもたちの遊戯や組体操、各種競技に真剣に取り組む様子は、放課後に見せる顔とはまたちょっと違うものがあり、勝っても負けても一生懸命走っている姿が印象的でした。この運動会に向けて、放課後教室では走り方教室というスポーツプログラムを実施。苫小牧市から専門のトレーナーの方にお越しいただき、腕の振り方や歩幅の意識など、2週間にわたって速く走るコツを伝授してもらったのです。ラダーという道具を使って練習をしたり、リレーで熱い勝負を繰り広げたり、様々な方法で楽しく指導をしていただきました。さて、運動会本番。走り方教室の成果は出せたでしょうか？



先月の山菜てんぷらに引き続き、春のオイシイをとって食べるプログラム第2弾はヨモギ団子を作り。まず、ヨモギを見分けるワンポイント講座を行い、自分たちでも探してみました。触ったり、匂いを嗅いだりと五感を使い、違いや特徴を考えながら自然をよく見るチカラを身につけてほしいと思います。あらかじめ用意をしていた団子のタネを丸めたり、ゆでたりする作業も子どもたち自身で行いました。自分で作って、みんなで食べるおやつの味は格別です。あっという間にお皿いっぱい作ったヨモギ団子は完売となりました。身近な植物に興味関心の高い子は、「探検に行こう！」とスタッフを誘って外遊びに出かけるのも積極的です。図鑑を使って気になったものを調べたり、木の枝や葉っぱを利用して秘密基地を作ったりして遊んでいます。こういった遊びの中から好奇心の芽が育って行くんだなあ、と実感する毎日です。



木登りや基地作りは高学年にも人気です☆



放課後教室では、平日に実施している平常の活動に加えて、土日や夏・冬休みなどを活用した特別教室を開催しています。先月31日（日）に今年度第1回目の特別教室【あつまっ子ふるさと体験教室】を開催しました。本プログラムは、とまこまい広域農協青年部厚真支部のみなさんとの共催企画で、今年で3年目を迎え、農家さんの仕事についてのお話やクイズ、農作業体験などの活動を行っています。1回目となる今回は、毎年恒例の田植え体験。

田植えまでに農家さんがどんな準備をしているのか、実際に作業をしている様子などを写真で紹介してくれたり、田んぼの水の量や収穫量をクイズで考えたり、一緒に田植え作業をしてくれたりと大活躍です。町内外からのボランティアスタッフ、保護者の方も交え、総勢50名での活動となりました。たくさんの人との交流を通じ、地域の産業を学ぶ機会となっています。特別教室では、今年度も林業や商工業、様々な分野に関わる活動を展開していきたいと考えています。

